

平成30年度 事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

1 会員数の状況

区分	平成30年度 当初会員数	加入	退会	年度末会員数
団体会員	61	0	3	58
会社会員	61	5	3	63
計	122	5	6	121

2 総会・理事会・監事監査の実施

(1) 総会

第39回通常総会 開催日：平成30年5月24日（木）
場 所：福井県国際交流会館 第3会議室

(2) 理事会

第80回理事会 第39回通常総会と同時開催
第81回理事会 開催日：平成31年3月19日（火）
場 所：福井県国際交流会館 第2会議室

(3) 監事監査

実施日：平成30年5月15日（火）
場 所：福井県職員会館ビル 202会議室

3 事業の実施状況

(1) 職業訓練振興事業

ア 職業訓練指導員（48時間）講習の実施

開 催 日：平成31年1月28日（月）、29日（火）、30日（水）、
" 2月 4日（月）、 5日（火）、 6日（水）
場 所：福井県立福井産業技術専門学校
修了者数：7名

イ 認定職業訓練指導員研修

開 催 日：平成31年2月21日（木）
場 所：亀屋製菓株式会社 会議室
参加者数：6団体 13名

ウ 職業能力開発推進者経験交流プラザ

開 催 日：平成30年10月22日（月）
場 所：福井県国際交流会館 多目的ホール
テ ー マ：『生産性向上につながる職場環境の改善と人材育成』
参加者数：71名

内 容：基調講演『ホリタ文具が「人を育てる」ためにやっていること』
〈講師〉株式会社ホリタ 代表取締役社長 堀田 敏史 氏
事例発表『若者の働き方改革による人材育成 人作り、酒造り』
〈発表者〉吉田酒造有限会社 代表取締役社長 吉田 由香里 氏
パネルディスカッション
株式会社ホリタ 代表取締役社長 堀田 敏史 氏
吉田酒造有限会社 代表取締役社長 吉田 由香里 氏
株式会社米五 代表取締役 多田 和博 氏
北出経営労務事務所 シナジー経営株式会社 代表取締役 北出 慎吾 氏

エ 監督者訓練 (TWI) の実施

実施企業	訓練科	実施日	修了者数
株式会社金津技研	第1科 仕事の教え方	4月7日(土)、14日(土)	10名
		3月9日(土)、16日(土)	10名
	第3科 人の扱い方	5月12日(土)、19日(土)	9名
		9月1日(土)、8日(土)	8名
パナソニックライティングシステムズ株式会社	第1科 仕事の教え方	5月28日(月)、30日(水)、 6月12日(火)、14日(木)、27日(水)	10名
高槻電器工業株式会社	第1科 仕事の教え方	11月29日(木)、12月11日(火)	7名
	第3科 人の扱い方	3月14日(木)、27日(水)	7名

(2) 技能検定事業

ア 前期・後期

期別	級別	申請者	合格者	合格率(%)	職種
前期	1級	178	84	47.2	28職種
	単一等級	11	2	18.2	
	2級	219	103	47.0	
	3級	90	72	80.0	
	計	498	261	52.4	
後期	特級	34	7	20.6	29職種
	1級	131	66	50.4	
	単一等級	5	3	60.0	
	2級	136	68	50.0	
	3級	135	94	69.6	
	計	441	238	54.0	
合計		939	499	53.1	57職種
前年度比		13.5%減	12.5%減	0.6ポイント増	

イ 随時

級別	申請者	合格者	合格率(%)	職種
随時3級 (うち実技のみ)※	789 (637)	114 (589)	14.4 (91.2)	35職種
基礎級	1,062	956	90.0	
合計	1,851	1,070	57.8	
前年度比	42.4%増	1.4%減	25.7ポイント減	

※ 随時3級制度は、平成29年11月の「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」施行とともに本格運用された。

実習期間内の実技試験の受験が必須となり、実技試験のみの合格により、実習期間を従来の3年間からさらに2年延長することが可能となった。(基礎級のように実技・学科ともに合格する必要はなく、学科の受験は任意。ただし、上表の「合格者」は実技・学科ともに合格した者のこと。)

ウ 第56回技能五輪全国大会への参加

開催日：平成30年11月2日（金）～5日（月）

場 所：沖縄県那覇市他

参加者：左官1名（銀賞受賞）、日本料理2名（うち1名、敢闘賞受賞）、抜き型1名

エ 第30回技能グランプリへの参加

開催日：平成31年3月1日（金）～4日（月）

場 所：兵庫県神戸市他

参加者：日本料理1名（敢闘賞受賞）、建具2名（うち1名、敢闘賞受賞）、表具1名

オ 技能検定フォローアップ講習の実施

開催日：平成30年6月3日（日）

場 所：福井市研修センター

職 種：左官 修了者：36名

(3) 自主事業

ア 研修事業

(ア) 役割とマナーが身につく

開催日：平成30年4月3日（火）、4日（水）

新入社員研修

場 所：福井市地域交流プラザ

修了者：19名

(イ) 職場中堅リーダー

開催日：平成30年6月5日（火）、6日（水）

能力向上研修

場 所：福井市地域交流プラザ

修了者：10名

(ウ) 管理職とリーダーのための

開催日：平成30年9月4日（火）、5日（水）

職場診断と人材育成

場 所：福井県中小企業産業大学校

修了者：12名

イ コンピュータサービス技能評価試験の実施

(ア) 一般募集試験

実施日：前期・・・平成30年 6月30日（土）

後期・・・平成30年12月15日（土）

場 所：ポリテクセンター福井

申請者：34名（前年度比5.6%減）

合格者：18名（前年度同数）

(イ) 認定施設試験

福井産業技術専門学院その他11認定・登録施設において、随時に実施した。

申請者：635名（前年度と同数）

合格者：593名（前年度比19.6%増）

ウ 技能検定学科試験予備講習会開催に対する助成

受検者を対象に学科試験の講習会を開催した3団体に対して、助成金を交付した。

・福井県左官工業組合、福井県管工事業協同組合連合会他

エ ビジネス・キャリア検定試験の実施

実施日：前期・・・平成30年10月 7日（日）

後期・・・平成31年 2月17日（日）

場 所：福井大学 文京キャンパス

申請者：174名（前年度比46.2%増）

合格者： 80名（前年度比63.2%増）

(4) 厚生労働省からの受託事業
若年技能者人材育成支援等事業

(ア) 地域における技能振興

①技能五輪全国大会の予選の実施等

- ・技能五輪全国大会福井県予選の実施

福井県内の若年者の技能レベルの向上と技能尊重気運の醸成を図るため、技能五輪全国大会の福井県予選を実施し、日本料理部門で2名の全国大会出場者を決定した。

開催日・場所	4月18日(水) 啓新高等学校
職種・参加者数	日本料理 11名

- ・技能五輪全国大会への参加支援の実施

選手と指導者に対し参加しやすい環境を整備するため、旅費を支援した。左官部門で銀賞、日本料理部門で1名が敢闘賞を受賞し、本県勢としては4年連続の入賞となった。

技能五輪全国大会	11月2日(金)～5日(月) 沖縄県
開催日・場所	選手 3名 (日本料理2名、左官1名)
派遣人数	指導者 3名 (日本料理2名、左官1名)

- ・若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施

選手と指導者に対し参加しやすい環境を整備するため、旅費を支援した。電子回路組立て部門で高校生が敢闘賞を受賞した。

若年者ものづくり競技大会	8月1日(水)～2日(木) 石川県
開催日・場所	選手 1名 (電子回路組立て1名)
派遣人数	指導者 1名 (電子回路組立て1名)

②ものづくりの魅力、技能者の技能を伝えるための取組等

- ・技能に関するイベント「福井 技の祭典」の開催

県民に技能を公開し、技能尊重気運の醸成を図るとともに、若年技能者の人材確保と育成を図ることを目的として、県や業界団体の協力のもと「福井 技の祭典」を開催した。

開催日・場所		11月17日(土)～18日(日) 福井県産業会館
技能・製作 実演大会	職種 参加選手・満足度	7職種(管工事、造園、建築板金、左官、建築大工、和菓子、日本料理) 若手職人50名 団体：100%、参加者：98%
熟練技能者による 製作実演	職種	4職種(季節の生菓子、化粧フィルム貼り、銅板製「水差し」、日本料理の飾り切りと剥きもの)
ものづくり 体験教室	教室 参加者数・満足度	14教室(ニ屏風、苔玉、フラワーアレンジメント、和菓子、ミルューターでガラス彫刻、ペンケース作り、ロボットアームでつかみどり、風力発電工作、勾玉づくり、ライトスクラッチ、銅板折り鶴・かぶと、どろだんご、丸太切り、太巻き寿司) 903名・99%

- ・小中学生(親子)ものづくり体験教室の開催

県内4地区において、小中学生を中心に熟練技能者の指導によるものづくり体験を通して、ものづくりの楽しさや素晴らしさを実感してもらった。

場所	坂井地区 エンゼルランド	丹南地区 サンドーム福井	嶺南地区 あっとほうむ	奥越地区 結とびあ
開催日	6月2日(土)～3日(日)	9月17日(祝)	9月22日(土)～24日(祝)	10月20日(土)～21日(日)
職種	5職種(左官、建築大工、和裁、和菓子、日本料理)	4職種(和裁、造園、インテリア、建築板金)	5職種(左官、和裁、和菓子、日本料理、建築大工)	4職種(左官、建築大工、和裁、建築板金)
参加者数	568名	115名	429名	287名(計1,399名)
満足度	100%	100%	98%	100%(計99%)

・熟練技能者の派遣による実技指導

熟練技能者を高校および業界団体に派遣し、技能向上や技能検定対応等ニーズに合った実技指導を行った。

派遣先	計 17件 539人日
企業・団体	1件 15人日
高校	16件 524人日 (*人日=受講者数×派遣日数)
職種	全3職種
企業・団体	1職種 日本料理
高校	3職種 日本料理、フラワー装飾、溶接
満足度	企業・団体、高校：100% 受講者：100%

(イ) ものづくりマイスター・ITマスターの認定、登録に関する業務

派遣依頼はあるが、登録者が少ない職種を中心に掘り起こして認定・登録を行った。

ものづくりマイスター・ITマスターの認定登録者数	○ものづくりマイスター 15名 【増員】機械保全・電気機器組立て・機械検査1名、機械加工1名、造園1名、建築板金2名、左官5名、鉄筋施工4名、和裁1名 ○ITマスター 1名 【増員】ITネットワークシステム管理 1名
--------------------------	---

(ウ) ものづくりマイスターの活用

①ものづくりマイスターの派遣による実技指導の実施

ものづくりマイスターを企業・団体や高校等に派遣し、技能向上や技能検定受検への対応等、ニーズに合った実技指導を行った。

事業を活用していた団体同士の交流で、異業種間の実技指導が実現し、技能の幅が広がった。
(日本料理の懐石料理の甘味に、菓子製造の技能を取り込み)

派遣先	計61件 1,751人日
企業・団体	8件 241人日
高校	53件 1,510人日
職種	全17職種
企業・団体	5職種 左官、菓子製造、建築大工、造園、建築板金
高校	15職種 左官、菓子製造、建築大工、機械加工、鉄工、機械検査、和裁、機械保全型枠施工、鉄筋施工、電気機器組立て、農業機械整備、パン製造、表装、婦人子供服
ものづくりマイスターの活動数(合計)	2,287人日 ((ウ)-②含む)
満足度	企業・団体、高校：100%、受講者：100%

②「目指せマイスター」プロジェクト

・「ものづくりの魅力」発信

ものづくりマイスターを小・中学校に派遣し、教師や生徒を対象とした講義やものづくりの実演および体験教室を行った。

学校の授業等への派遣	計 7校 (新規3校含む)
職種	全 3職種 (菓子製造、建築大工、建築板金)
ものづくりマイスターの活動数	計 536人日 ((ウ)-①の内数)
満足度	学校：100%

・「ITの魅力」発信

ITマスターを小学校に派遣し、児童を対象とした講義やロボットを使用したプログラミングの実技体験を行った。

学校の授業等への派遣	計 1 校（新規校）
職 種	1 職種 ロボットプログラミング
ITマスターの活動数	計 2 2 人日
満足度	学校：100%

4 表彰

区 分	表彰の種類	表 彰 者		
認定職業訓練	厚生労働大臣	功労者	1 名	(武田 眞一)
	知事	功労者	1 名	(櫛田 実)
	中央職業能力開発協会 会長	団 体 功労者	1 団体 1 名	(福井県菓子工業組合) (上木 善左エ門)
	福井県職業能力開発協会 会長	功労者 優秀訓練生	2 名 1 名	(藤田 満雄、盛政 隆治) (網田 長英)
技能検定	厚生労働大臣	団 体 功労者	1 団体 1 名	(福井県板硝子商協同組合) (上田 耕一)
	知事	事業所 功労者	1 事業所 1 名	(株式会社鯖江村田製作所) (東野 清則)
	福井県職業能力開発協会 会長	事業所 功労者 10年勤続技能検定委員 5年勤続技能検定委員	1 事業所 2 名 4 名 9 名	(ナカヤ化学産業株式会社今立事業所) (坂井 順一、寺島 国博) (清川 肇、古宮 聡 島森 建、安井 正己) (荒谷 滋、荻安 博樹 熊野 佳彦、坂川 久吉 末武 忠勝、清田 秀幸 田中 幸一、西村 浩幸 水口 政雄)

平成30年度 収支決算

収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額 (3月補正)	決算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 会費収入	1,643,000	1,653,400	△ 10,400	団体会員 58団体 会社会員 63会社
(2) 事業収入	49,259,000	49,757,186	△ 498,186	
① 職業訓練収入	1,417,000	1,402,736	14,264	
職業訓練指導員講習受講料	86,000	86,000	0	7名
監督者訓練受講料	510,000	495,000	15,000	7コース
監督者訓練講師派遣料	56,000	56,736	△ 736	県内7コース
研修受講料	765,000	765,000	0	41名
② 技能検定収入	46,090,000	46,594,000	△ 504,000	
技能検定(前後期)受検料	12,325,000	12,325,600	△ 600	学科754名 実技846名(うち、若者 減免対象者425名)
技能検定(随時)受検料	33,765,000	34,268,400	△ 503,400	学科1,210名 実技1,820名
③ 技能五輪手数料	35,000	35,600	△ 600	参加選手 4名(若者減免対象者)
④ 技能検定実技試験受託収入	143,000	143,200	△ 200	
他県からの受検者受託料	143,000	143,200	△ 200	8名
⑤ 技能評価試験手数料	1,208,000	1,214,760	△ 6,760	
試験手数料	161,000	167,010	△ 6,010	一般募集試験 34名
事務手数料	1,047,000	1,047,750	△ 750	認定・登録施設試験 635名
⑥ ビジネス・キャリア検定試験手数料	366,000	366,890	△ 890	174名
(3) 補助金収入	32,743,000	32,743,000	0	管理費補助金 23,768,000円 事業費補助金 5,232,000円 事業費補助金 3,743,000円 (若者減免分)
(4) 雑収入	400,000	527,214	△ 127,214	委託事業からの受入金等
事業活動収入計	84,045,000	84,680,800	△ 635,800	
2 事業活動支出				
(1) 管理費支出	48,157,000	48,075,719	81,281	
① 管理諸費	3,809,000	3,733,226	75,774	賃借料、燃料費、光熱水費、
管理諸費	3,809,000	3,733,226	75,774	保険料、租税公課

(単位：円)

科目	予算額 (3月補正)	決算額	差異	備考
②人件費	40,780,000	40,774,909	5,091	
給料	21,675,000	21,683,775	△ 8,775	職員6名、事務員3名
諸手当	12,980,000	12,973,703	6,297	期末勤勉手当、通勤手当等
法定福利費	6,125,000	6,117,431	7,569	社会保険料
③積立金	3,568,000	3,567,584	416	職員5名分
中退金掛金	720,000	720,000	0	
退職手当積立金	2,848,000	2,847,584	416	
(2)事業費支出	35,478,000	35,340,078	137,922	
①職業訓練振興費	1,574,000	1,548,945	25,055	
事務費	669,000	645,787	23,213	印刷製本費、消耗品費等
認定職業訓練指導員研修費	6,000	5,710	290	報償費、会議費
48時間講習会開催費	42,000	41,952	48	教材費、報償費等
監督者訓練実施費	59,000	58,415	585	教材費、旅費等
研修事業実施費	526,000	525,945	55	報償費、旅費、教材費等
経験交流プラザ開催費	272,000	271,136	864	報償費、通信運搬費等
②技能検定試験等実施費	33,419,000	33,308,127	110,873	
事務費	2,732,000	2,696,672	35,328	通信運搬費、印刷製本費等
学科試験実施費	3,430,000	3,412,702	17,298	試験問題代、賃借料等
実技試験実施費	26,516,000	26,467,757	48,243	材料費、報償費、試験問題代等
技能五輪選手等派遣費	741,000	730,996	10,004	旅費、報償費等
③技能評価試験実施費	450,000	448,006	1,994	試験問題代、通信運搬費等
④助成金	35,000	35,000	0	学科試験予備講習会開催助成金
事業活動支出計	83,635,000	83,415,797	219,203	
事業活動収支差額	410,000	1,265,003	△ 855,003	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
(1) 固定資産取得支出	530,000	529,200	800	技能検定試験架台（金属プレス）
投資活動支出計	530,000	529,200	800	
投資活動収支差額	△ 530,000	△ 529,200	△ 800	
III 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	△ 120,000	735,803	△ 855,803	
前期繰越収支差額	2,450,000	2,450,359	△ 359	
次期繰越収支差額	2,330,000	3,186,162	△ 856,162	

[退職手当積立金]

収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
収入の部				
1 前年度繰越金	6,208,000	6,208,386	△ 386	
2 積立金	2,819,000	2,847,584	△ 28,584	
3 預金利子	2,000	2,166	△ 166	
収入計	9,029,000	9,058,136	△ 29,136	
支出の部				
1 退職手当支出	0	0	0	
当期収支差額	9,029,000	9,058,136	△ 29,136	翌年度繰越

[運営調整基金]

収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
収入の部				
1 前年度繰越金	14,828,000	14,828,874	△ 874	
2 積立金	0	0	0	
3 預金利子	6,000	6,905	△ 905	
収入計	14,834,000	14,835,779	△ 1,779	
支出の部				
1 繰出金	0	0	0	
支出計	0	0	0	
当期収支差額	14,834,000	14,835,779	△ 1,779	翌年度繰越

厚生労働省事業受託費特別会計

[若年技能者人材育成支援等事業]

収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収入の部				
1 受 託 費	36,414,000	36,414,360	△ 360	
収入計	36,414,000	36,414,360	△ 360	
支出の部				
1 地域における技能振興事業	11,004,000	8,888,953	2,115,047	
(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等	1,612,000	971,335	640,665	選手等派遣旅費、材料費等
(2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組等	9,392,000	7,917,618	1,474,382	「福井 技の祭典」経費、熟練技能者謝金・旅費、材料費等
2 ものづくりマイスターの認定、登録に関する業務	212,000	155,607	56,393	講師謝金・旅費、通信運搬費等
3 ものづくりマイスターの活用に係る業務	13,362,000	10,206,415	3,155,585	マイスター謝金・旅費、材料費印刷製本費等
4 連携会議の開催	44,000	43,256	744	委員謝金、会場使用料、旅費等
5 全国斉一的な事業展開	536,000	256,125	279,875	職員旅費
6 管理費	11,256,000	10,040,680	1,215,320	人件費、賃借料、支払手数料等
支出計	36,414,000	29,591,036	6,822,964	
当期収支差額	0	6,823,324	△ 6,823,324	厚生労働省へ返還

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	30,000	30,000	0
普通預金	22,758,445	12,160,486	10,597,959
定期預金 運営調整基金	14,835,779	14,828,874	6,905
未収金	1,159,040	703,793	455,247
前払金	53,920	53,920	0
流動資産合計	38,837,184	27,777,073	11,060,111
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職手当積立金	9,058,136	6,208,386	2,849,750
特定資産合計	9,058,136	6,208,386	2,849,750
(2) その他固定資産			
建物	1,688,202	1,882,699	△ 194,497
車両運搬具	890,355	1,194,748	△ 304,393
什器備品	1,456,335	1,436,797	19,538
ソフトウェア	34,561	69,121	△ 34,560
その他固定資産合計	4,069,453	4,583,365	△ 513,912
固定資産合計	13,127,589	10,791,751	2,335,838
資産合計	51,964,773	38,568,824	13,395,949
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,068,600	3,956,562	112,038
預り金	11,262,927	4,383,578	6,879,349
前受金	3,633,280	2,127,700	1,505,580
流動負債合計	18,964,807	10,467,840	8,496,967
2 固定負債			
退職手当積立金	9,058,136	6,208,386	2,849,750
固定負債合計	9,058,136	6,208,386	2,849,750
負債合計	28,022,943	16,676,226	11,346,717
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
正味財産合計	23,941,830	21,892,598	2,049,232
負債および正味財産合計	51,964,773	38,568,824	13,395,949

財産目録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	30,000	
普通預金		
福泉信用組合本店 No.0013994	9,127,349	
" No.0282902	11,780,660	
福井銀行県庁支店 No.0001064	1,850,436	
定期預金		
運営調整基金		
福泉信用組合本店 No.0121332	11,834,279	
福井銀行県庁支店 No.5005527	3,001,500	
未収金		
試験手数料等	1,159,040	
前払金		
新入社員研修講師旅費	53,920	
流動資産合計		38,837,184
2 固定資産		
(1) 特定資産		
定期預金		
退職手当積立金		
福泉信用組合本店 No.0053616	9,058,136	
特定資産合計	9,058,136	
(2) その他固定資産		
建物	1,688,202	
車両運搬具	890,355	
什器備品	1,456,335	
ソフトウェア	34,561	
その他固定資産合計	4,069,453	
固定資産合計		13,127,589
資産合計		51,964,773
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
社会保険料他	4,068,600	
預り金		
受託事業返還金 (平成29年度分)	4,439,603	
受託事業返還金 (平成30年度分)	6,823,324	
前受金		
受検手数料等	3,633,280	
流動負債合計		18,964,807
2 固定負債		
退職手当積立金	9,058,136	
固定負債合計		9,058,136
負債合計		28,022,943
正味財産		23,941,830

財務諸表に対する注記

1 重要な会計区分

- (1) 固定資産の減価償却方法
定額法を採用しています。
- (2) 退職手当積立金の計上基準
職員の退職給付に備えるため、当期末退職の要支給額に相当する金額から中小企業退職金共済給付額を控除した金額を計上しています。
- (3) 消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込方式によっています。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	6,356,130	4,667,928	1,688,202
車両	3,738,905	2,848,550	890,355
什器備品	10,062,351	8,606,016	1,456,335
ソフトウェア	486,960	452,399	34,561
合 計	20,644,346	16,574,893	4,069,453

3 資金の範囲

資金の範囲には、現金・普通預金・未収金・前払金・未払金・預り金・前受金を含めています。